

町長日誌 No.205



町長日誌の第 205 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

11月16日(月) PM 5:00

例年 11 月は様々な団体の全国大会が目白押しのも月です。道路・漁港漁場・農業基盤・災害対策・治水砂防・国民健康保険・過疎対策等々私たちの生活に直結する国や町の事業予算を要求する大会と省庁や議員への要請活動が続くのが 11 月なのです。しかし、今年はコロナのため省庁への要請は 5 人程度に制限されています。また、大会も首長のみで代理は会場に入れたいケースも多く、毎年 NHK ホールで開催される全国町村長大会も今年は都道府県役員だけの参加となり副会長の私は参加しなければならないのですが、オホーツク管内からは誰も出席できない状況です。特に一期目の町長さんたちは関係する省庁などへの挨拶もままならぬため今後の仕事への影響が心配されます。

11月1日(日)

訓子府町が開町 100 周年・町制 70 年の式典があり管内町村会長としてお招きを受けましたので、出席し祝辞を述べさせていただきました。この「開町」と言うのは大正 9 年に旧置戸村から分村したことを始まりとして百年経ったということです。ちなみに興部町は 1915 年(大正 4 年)にル口チ村、沙留村、興部村が合併して興部村が始まっていますので、すでに 105 年が経過しています。

また、町制施行 70 年とは昭和 26 年に村から町へと昇格したことを言います。実は終戦後多くの村

は人口が増え、この年に「町」になっており興部もこの年の 4 月 1 日に「興部町」となり今年で 70 年となります。しかし、今年はコロナのこともあり特別な事業は計画しませんでした。訓子府町は百年と重なることから様々な事業を計画していたようですが、式典と町の歌を作成すること以外は中止となったようです。こんなところにもコロナ感染症の影響が出ているのです。

11月9日(月)

夜半に雨が雪に変わり、朝には我が家の周りは 10 cm ぐらい雪が積りました。しかし、なかなか除雪車が入らないので不思議に思いながら雪道を役場に向かうにつれ雪が少なくなり、市街は全く積もっていないのに驚きました。ただ、この日は紋別空港から東京出張の予定でしたから飛行機も無事に飛び安心していたのですが、翌 10 日には市街地も積雪で除雪車が出勤したと副町長からの知らせがありました。昨年は雪が遅く 12 月 7 日に少し雪が降り吹雪模様となったと記憶していますが、今年はどうかな冬になるのでしょうか？除雪に関しましては町民皆様のご協力が不可欠ですので、よろしくお願ひします。



ウイルスは気温が 8℃以下で空気が乾燥している時に活発になるそうです。また、私たちの皮下でつくられる抵抗力に不可欠なビタミン D は冬の弱い日差しでは減少するようです。沖縄と比較すると 7 分の 1 と言いますから、抵抗力が落ちるため罹患しやすくなるようです。ところが秋冬の味覚であるサケにはこのビタミン D がとても豊富だと言いますから、自然界はちゃんと我々が生きて行けるように手配してくれているのですね。さあ、朝は焼きサケ、夜には石狩鍋で抵抗力を付けましょう！（あくまでも諸説あります）では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願ひします。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。

